

**製品名: NDUFC1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14509**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	NDUFC1
別名	NDUFC1; NADH dehydrogenase [ubiquinone] 1 subunit C1; mitochondrial; Complex I-KFYI; CI-KFYI; NADH-ubiquinone oxidoreductase KFYI subunit
遺伝子 ID	4717.0
SwissProt ID	O43677
免疫原	NDUFC1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 40-120

**背景**

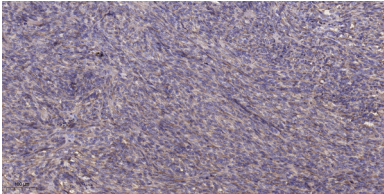
コードされているタンパク質は、ミトコンドリア内膜に位置する電子伝達系の最初の酵素複合体である NADH:ユビキノン酸化還元酵

素 (複合体 I) のサブユニットです。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2010年5月]、機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の補助サブユニット。触媒作用には関与していないと考えられています。複合体 I は、NADH から呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接の電子受容体はユビキノンであると考えられています。類似性: 複合体 I NDUF1 サブユニットファミリーに属します。サブユニット: 複合体 I は 45 の異なるサブユニットで構成されています。、

## 研究分野

酸化リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。